

第5回 DX 推進本部会議 議事要旨

開催日時 令和6年10月31日(木) 13時10分～15時00分

開催場所 市役所 4階 特別会議室

《案 件》

- 1 セミナー・意見交換
 - (1)「DX 推進の取り組み全体像」
 - (2)「デジタルで進化する働き方」
- 2 各 DX 推進プロジェクトの進捗報告
 - (1) 保育所入所手続きデジタル化(詳細報告)
 - (2) 地域ポイント(詳細報告)
 - (3) DX 人材育成(計画・研修)(詳細報告)
 - (4) 行政手続のオンライン化(詳細報告)
 - (5) 窓口 DX(資料報告)
 - (6) 公共インフラ DX(資料報告)
 - (7) 防災・消防 DX(資料報告)
 - (8) 福祉 DX(資料報告)
 - (9) 教育 DX(資料報告)
- 3 その他

《会議内容》

- 1 セミナー・意見交換
 - (1)「DX 推進の取り組み全体像」

泉川 PM から以下のテーマについて説明。

 - ・「DX 推進の取り組み全体像」

<意見交換>

 - ・デジタル化を進める中には、上手くいっている施策もあるが、課題もある。課題のある施策に関しては、DX 推進担当者と各課の職員のコミュニケーションを強化してもらいたい。
 - ・DX 推進担当者については、各課に入り込みながら推進することを想定していたが、現状そこには至っていない。各課の取り組み姿勢にも温度差がある。システム化の際には、DX、各課業務双方の専門性が不可欠なので、DX 推進担当者にはできるだけ各課に寄り添ったコミュニケーションを期待する。
 - ・10月から申請・受付を開始した保育所入所手続きは、DX 推進担当者と担当課の職員の連携によるデジタル化の好事例と捉えている。
 - ・DXに関する知見を持つ職員が少ないため、デジタルイノベーション推進課には、DX

に資するもの、可能性のあるものの提案を期待している。各課が主体となって進めるのは、現状では厳しいと思う。

- ・各課固有の業務のシステム化については各課で完結させるものだと思うが、デジタルイノベーション推進課には伴走型支援を期待している。
- ・課を跨るようなシステム化についてはデジタルイノベーション推進課がプロジェクトマネージャーの役割を果たしつつ、各課との調整を行いながら進めていく必要がある。
- ・現状のデジタルイノベーション推進課の体制でどこまで踏み込めるかという問題もある。人材の手当についても検討していく必要がある。
- ・DX 施策はデジタルイノベーション推進課を頼るのではなく、各部局でも普段の業務や市民の意見をもとに日ごろから考えることが大切だ。DX のアイデアを募るための市民アンケートも考えたい。デジタルイノベーション推進課には、各課を繋ぐ役割をしっかりと果たしてもらいたい。職員はできるだけ広い視野を持ち、管理職は担当内の話だけではなく、市役所全体の取り組みについても理解しながら、広い視点で職員にアドバイスしてもらいたい。

2 DX 推進プロジェクト進捗報告（詳細報告）

（1）保育所入所手続きデジタル化

- ・市民の利便性を更に向上させるため、次のステップとして保護者の困り事・悩み事相談、保育所の割り振りなどについても電子化を検討してほしい。

（2）地域ポイント

- ・地域ポイント事業には大いに期待している。効果を高めるためには、より多くの市民や事業者に参加してもらう必要がある。コインの活用方法については、様々な可能性が考えられる。各部局で積極的に考えてもらいたい。

（3）DX 人材育成

- ・DX で大切なことは、D（デジタル）よりもまず X（変革）といわれる。デジタルに精通していなくても、課題感や、やりたいことへのエネルギーが大切で、生駒市の人材育成基本方針にある「変革精神」と同様の話だ。管理職がデジタルに精通する必要性はないが、職員からデジタル活用について意見があるときは、ある程度内容を理解し、俯瞰的な視点でアドバイスすることを求めたい。

（4）行政手続のオンライン化

- ・市民に少しでも早くデジタル化の恩恵を感じてもらうためにも、行政手続のオンライン化については、引き続き積極的に進めてもらいたい。

3 その他

事務局から以下について説明。

- ・ 次回は、令和 7 年 2 月中頃に行う予定。

以上